

2024年6月18日

「レイミーのAI 病虫害雑草診断」
新機能「AI 予察」の搭載と診断対象作物拡大のお知らせ

当社は、2020年4月より配信しておりますスマートフォン用アプリケーション「レイミーのAI 病虫害雑草診断」（以下、「本アプリ」）に新たに「AI 予察」機能の搭載と診断対象作物の拡大を行いましたのでお知らせします。

1. 【新機能「AI 予察」】

各地域の診断情報や気象条件から注意すべき病虫害をお知らせする「AI 予察」機能を6月から本格運用いたしました。

各ユーザーが設定した地域・作物に応じてAIが重要な予察情報を自動配信します。

病虫害の発生状況や防除の必要性を多角的・視覚的に把握することが可能となり、栽培管理にお役立ていただけることが期待できます。



新機能「AI予察」

<p>トップ画面</p>  <p>トップ画面にAI予察のヘッドラインが表示されます。タップして詳細を確認できます。</p>	<p>予察一覧</p>  <p>選択したエリア・作物に最適な予察情報を一覧で確認できます。</p>	<p>気象アラート一覧</p>  <p>選択したエリアの農業気象情報をリアルタイムでアラートします。</p>	<p>詳細画面</p>  <p>発生状況や防除の必要性を多角的・視覚的に把握できます。農業現場の課題解決をサポートします。</p>
--	--	--	--

※画面はいずれも開発中のものです

2. 【診断対象作物の拡大】

「ぶどう」「かぼちゃ」「すいか」「メロン」「芝」の5作物を追加いたしました。

診断対象作物は今回の拡大により全25作物となります。

水稲、キャベツ、はくさい、レタス、ブロッコリー、ねぎ、トマト、きゅうり、なす、いちご、こまつな、チンゲンサイ、だいこん、かぶ、カリフラワー、たまねぎ、ばれいしょ、かんきつ、りんご、その他野菜、ぶどう、かぼちゃ、すいか、メロン、芝

本アプリでは、当社製品に加え、スマート農業の普及のために連携しております日産化学株式会社、日本曹達株式会社、三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社、株式会社エス・ディー・エス バイオテック、丸和バイオケミカル株式会社の製品情報も提供しております。

* 農薬製品紹介機能は一部作物には対応していません

* 「レイミーのAI 病虫害雑草診断」

日本農薬と株式会社 NTT データ CCS が共同で開発した AI が作物や田畑に発生する病虫害や雑草を写真から診断し、表示された候補から利用者が選択した防除対象に有効な薬剤情報を提供する、スマートフォン用の防除支援ツールです。本アプリは iOS, Android に対応しており、ダウンロード・利用共に無料です（通信料はお客様の負担となります）。

本アプリのサイトはこちら：

[レイミーのAI 病虫害雑草診断 | 日本農業株式会社 | AI 診断で最適な農薬を提案 \(nichino.co.jp\)](https://nichino.co.jp)

当社グループは、サステナビリティ経営の推進を成長戦略とし、社会全体と日本農薬グループの持続可能性両立の実現を目指します。今後とも、スマート農業の発展を通じて利用者の皆様へのソリューション提供に取り組んでまいります。

以上

■本リリースについてのお問い合わせ先

日本農薬株式会社 総務・法務部 総務広報グループ

Tel:0570-09-1177